

シンポジウム

主催：新潟大学災害・復興科学研究所危機管理・災害復興分野、科学研究費補助金・基盤研究（S）「大規模自然災害時の史料保全論を基礎とした地域歴史資料学の構築」（代表・奥村弘、被災地フォーラム）

新潟県中越地震から東日本大震災へ 被災歴史資料の保全・活用の 新しい方法をさぐる

共催：新潟大学人文学部附置地域文化連携センター、
新潟歴史資料ネットワーク、新潟史学会

2012年11月10日（土）

13:00～17:50 新潟大学総合教育棟D棟1階大会議室

1部

新潟県の大規模自然災害と資料保全の取り組み—新潟県中越地震から東日本大震災へ

〔報告〕「新潟の取り組みに学ぶ『災害・復興と資料』1号を読む」 奥村 弘（神戸大学）

▶パネルディスカッション

司会：矢田俊文（新潟大学災害・復興科学研究所）

パネラー 小林貴宏（山形文化遺産防災ネットワーク）、森 行人（新潟市歴史博物館）、大楽和正（新潟県立歴史博物館）、飯島康夫（新潟大学災害・復興科学研究所）、齋藤瑞穂（新潟大学）、田中洋史（長岡市立中央図書館文書資料室）、奥村 弘

2部

減災と復興にむけた現代的課題をさぐる

〔報告〕

「新潟県中越地震と山古志村史編集資料」

「山陰地方の過疎地における史料保存の課題」

「二〇〇九年台風九号被災資料の保全と活用—佐用郡地域史研究会・佐用町教育委員会との連携—」

「福井水害救出から見えた史料の社会的喪失」

「宮城県栗原市における歴史資料保全活動—二度の震災をうけて—」

「長野県栄村における文化財保全活動のこれまでと今後の課題」

「岩手県の震災被害と歴史資料—文化財レスキューの現場から—」

田中洋史（長岡市立中央図書館文書資料室）

小林准士（島根大学）

松下正和（近大姫路大学）

多仁照廣（敬賀短期大学）

蝦名裕一（東北大学）

白水 智（中央学院大学）

青木 睦（国文学研究資料館）

▶パネルディスカッション

司会：矢田俊文・奥村 弘

パネラー：田中洋史・小林准士・松下正和・多仁照廣・蝦名裕一・白水 智・青木 睦

問い合わせ先

◆矢田俊文（新潟大学人文学部、新潟大学災害・復興科学研究所兼任）

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2-8050 新潟大学人文学部 TEL：025-262-6542 MAIL：yata@human.niigata-u.ac.jp

◆添田 仁（神戸大学文学部）

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学文学部 TEL：078-803-5501 MAIL：soeda@lit.kobe-u.ac.jp